

SKETCH BOOK

フツネ

NO. 3.

1970. - 10月

|

1971 - 2月

巢穴調査

45 27 37 5 15 32

小清水町 Oct 24 - 28 1970
Oct 24 朝 北 概 概 夜 小 清 水
小 雨

要 用 查

no. 27, 37, 5, 15, 32

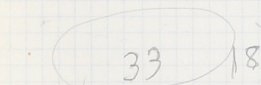
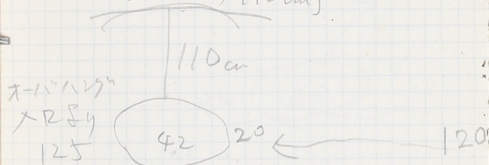
36

46 2p

Oct. 25 曇 1970

NO. 29 の巣を掘る

木の根が 1170cm まで右に曲る
1170cm (穴の入り口 110cm)



木の根が
入り口 50cm

木の根が
50cm



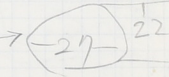
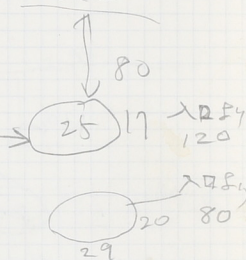
60

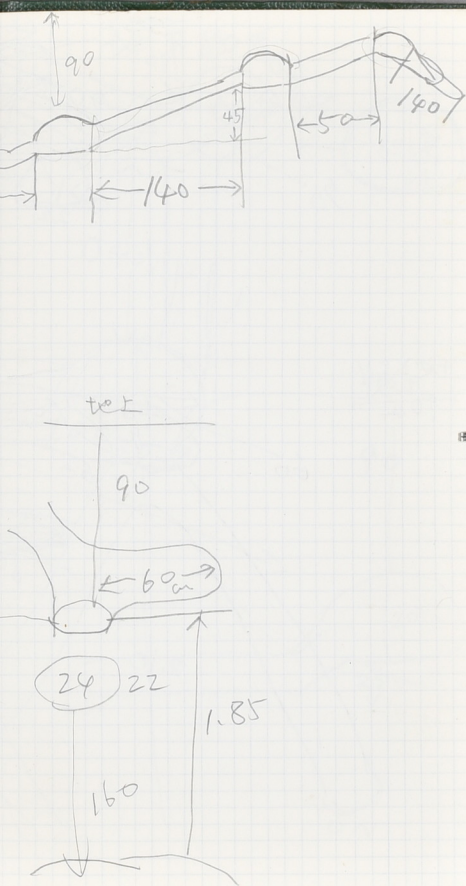
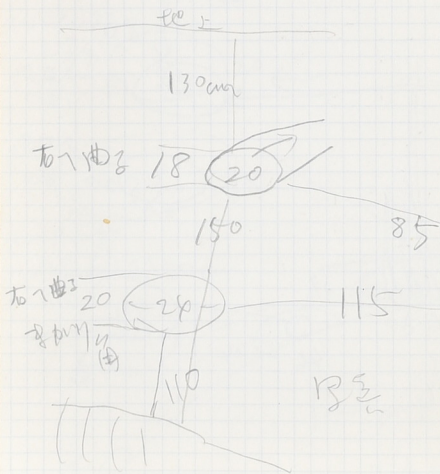
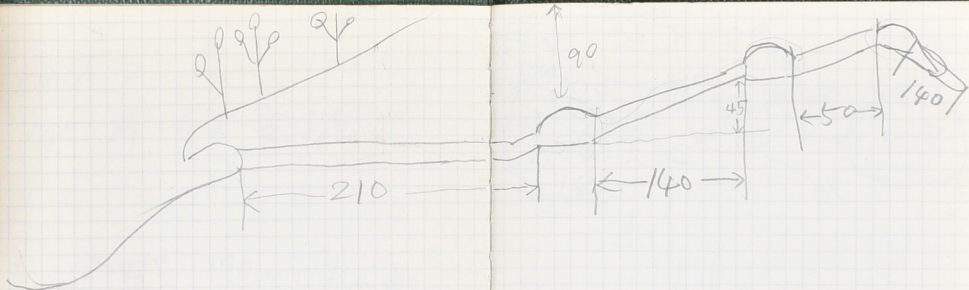
←

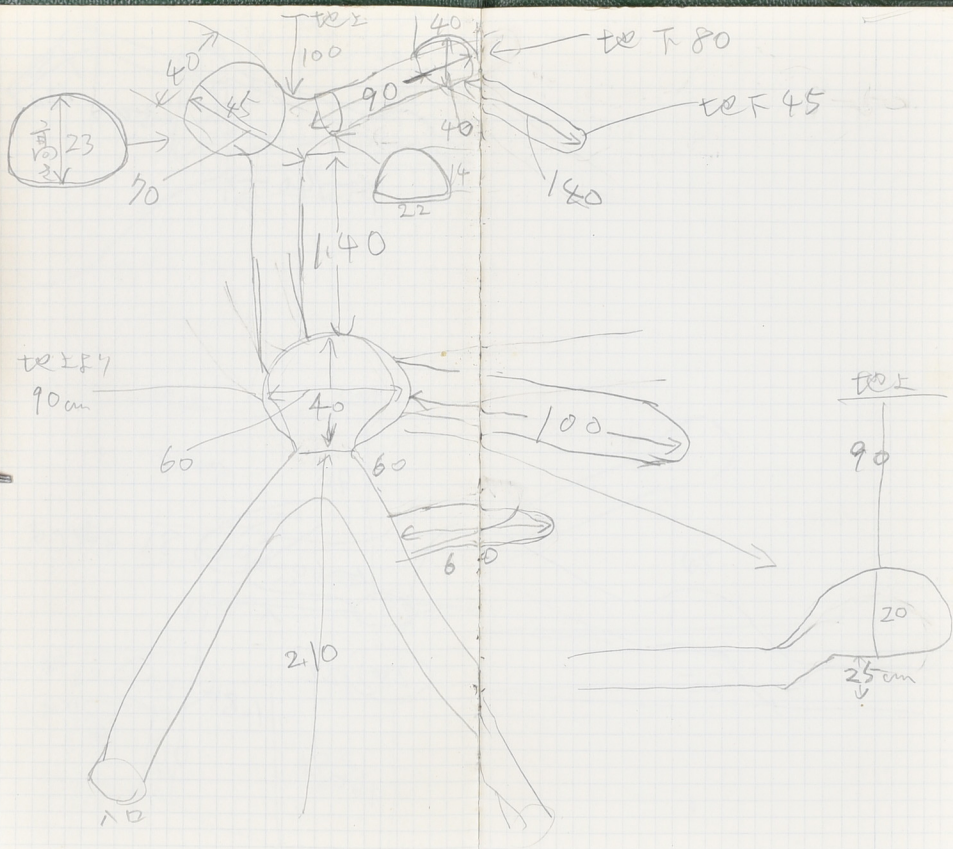
1.4m →

2.6m

地上

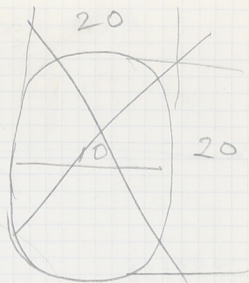
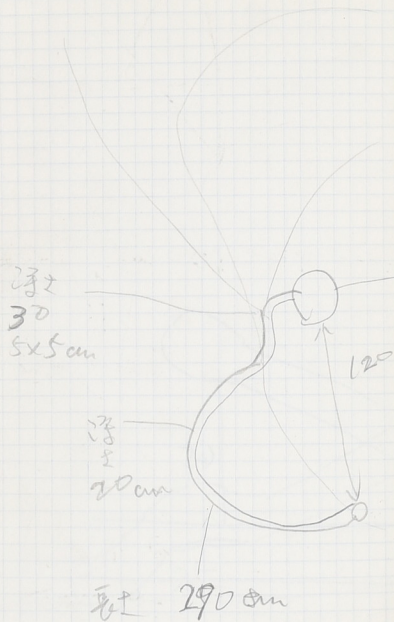




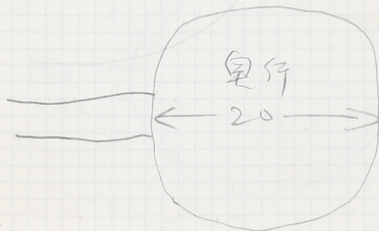
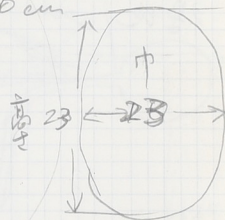




记忆の集

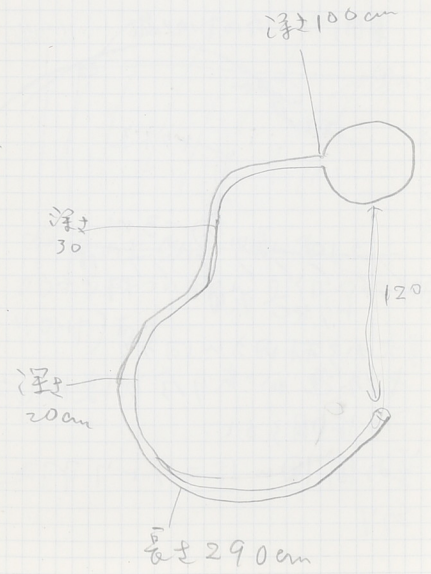
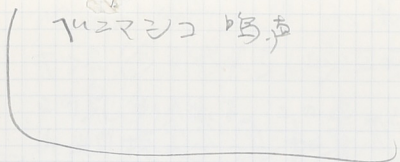
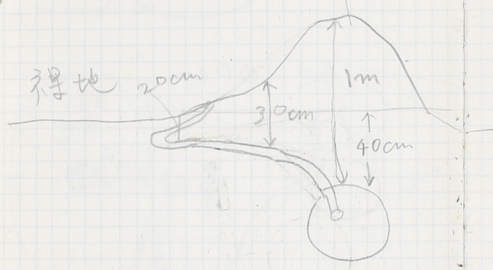


浮子 100 cm



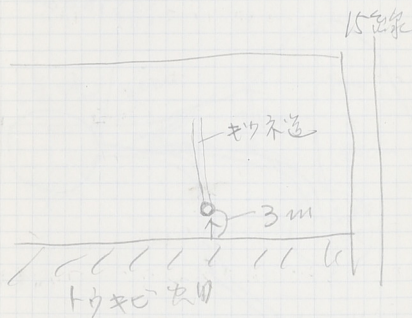
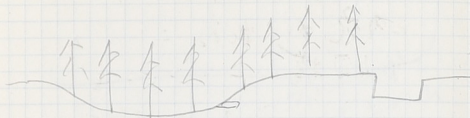
742マシコ鳴声

ブツサシ
おせおの山



Oct. 26 曇後小雨

no. 32 1穴

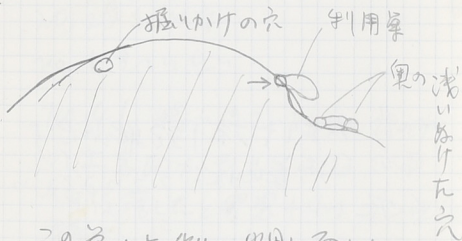


巣穴から林内方に向けて
キツネ道があり今年使用した
ことは明かす。

巣の周囲にはコウトリ羽毛
あり

no. 15 1穴

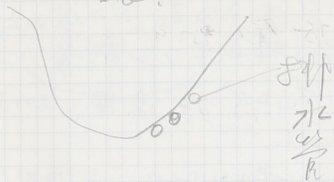
キツネ(今年使われし)2箇所
この穴から出る。この巣の上124
の畑横にコウトリ羽毛
この穴はずっと使用してい
るし。



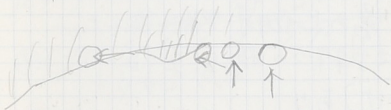
この巣の上124の畑に面した
からマツ村の横に212の穴(掘
りかけ)あり

no.

27 7月の工事の土砂の
堆



no. 9 奥野村の1箇所にて
雨の日には水はいつくたつ
4穴



no. 17. 全く土砂なし

no. 37 今年夏に堆積した
土砂の堆積の跡あり

no. 75 全く土砂なし

Oct 27 快晴

no. 26 全く土砂なし

no. 1 全く土砂なし

no. 41 堆積した土砂の
土表面がFL4200
より低く落ちたと思われ
7-21
調査

no 46
堆積した土砂の土
表面がFL4200
より低く落ちたと思われ
7-21
調査

no. 2.) せいせい
no. 3)

但し no. 2 掘土管掘り
乃マツ林に 2 箇穴掘り
か付

no. 11 全くせいせい

no. 13 穴 4 箇所 2 箇所を
いじ。単位の 2 エキ 4 の管を
掘つた跡あり (写真)
林 1 つの穴に はいつた新
しい足跡あり 昨日の雨の時
はいつたものらしい。穴の中
も足跡あり (写真)

no. 45 単の横(母線)の途路
の途中の ad 1 箇所を見
つけた。気がついた単の
乃マツ林へ逃げた

no. 10 全くせいせい

no. 20 向つた左の側の掘り
か付た穴は之の後より掘り
完成したらしい。この中の ad 1 箇所
ははいつたあり、しぼりか付た
と穴を掘り出さした。

no. 5 2 箇所 はいつたらしい
線路の側面の単 2 箇所も
掘り出した。足跡あり
昨日ははいつたらしい

no. 8 跡は付たらしい
エが少し乱れ
掘りか付た最上切りの跡は付た

no. 80 穴の中の土が黒い。

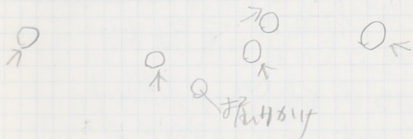
土の匂い強い。道路側の

単穴の中の土も足跡あり

フニ掬集(新)。道路側の穴

群はもう一組大きな穴から掘り
取った。

no. 14 土の匂い強い。使用中
5穴



この単の古い方(約20mはるか昔)

も使用中足跡等あり

この単の近く(道路を隔てた牧草
地内。林縁に掬集の中のものも
あり(0.5時5分前)

no. 30 足跡あり。穴の中も
土の匂い。

Oct 28 快晴

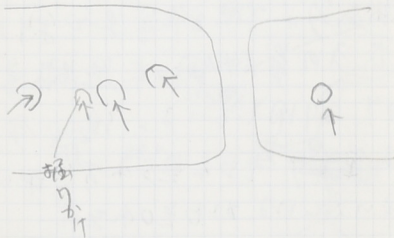
no. 33 土の匂い強い。足跡等あり

単は土の匂い強い

二つあり 2穴

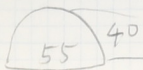
no. 42 4穴

新しく土を掘り出し使用中



no. 36 土の匂い強い

下の牧草地内には足跡等あり



小清水 Dec 9-14 1970

Dec. 10 小清水着小雪

no. 15の巣利用中

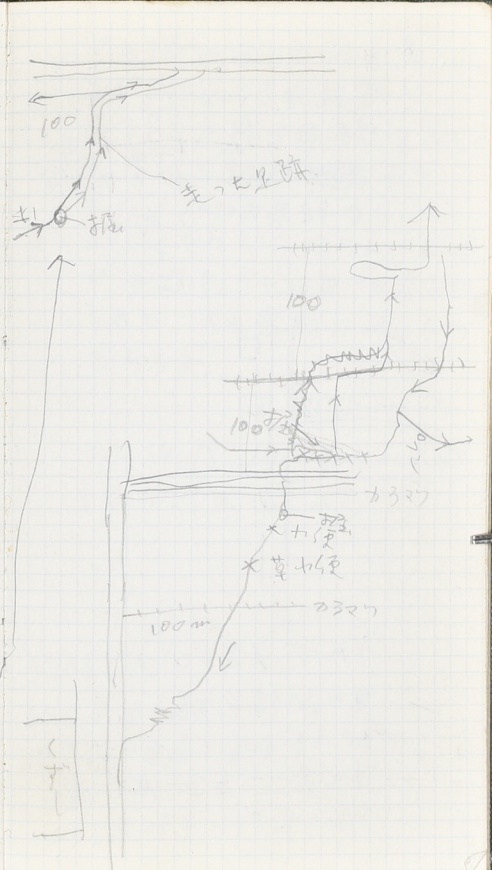
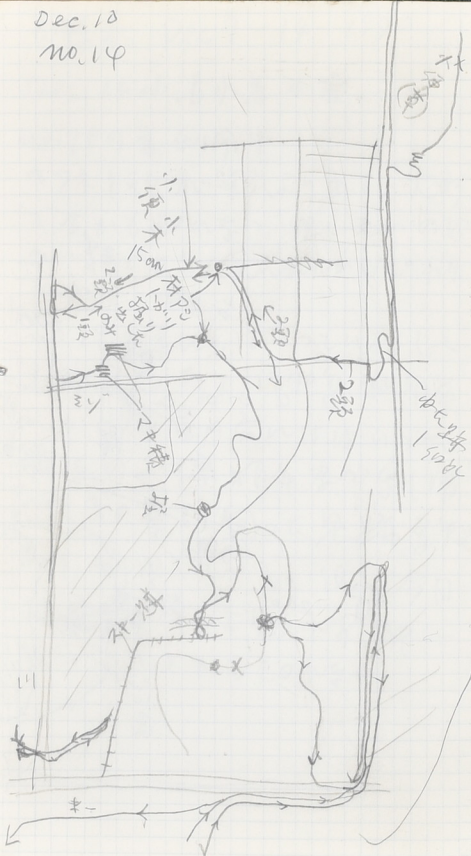
キツネ1頭が巣穴より出る。大形
の雪がもたれず、但し毛かしの
ついでに大きく見えぬかもたれ
ぬか。

no 14の巣にははいつてはうしく
足跡多敷あり 1970年利用巣
の中一着東の穴にははいつた
跡あり。また昨年まで利用
した方の巣に向った足跡多敷
あり、利用してゐる。但し今日
は ~~巣~~ キツネ見えず。中
にはいつてはうかもたれぬ。

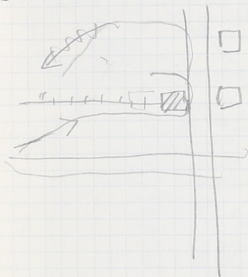


Dec. 10

no. 14



雪上にて草枯草、木、くし、
電柱などに小便をかけた。
其の雪を掘った所には
~~草~~ 保心んどの場合
小便をかけたあり。

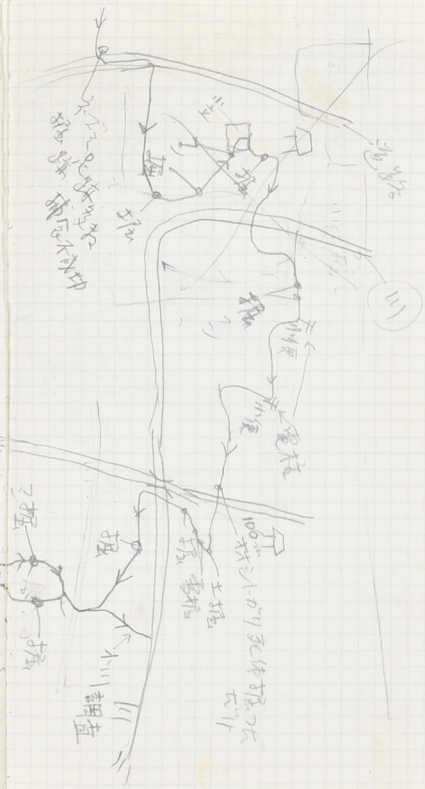
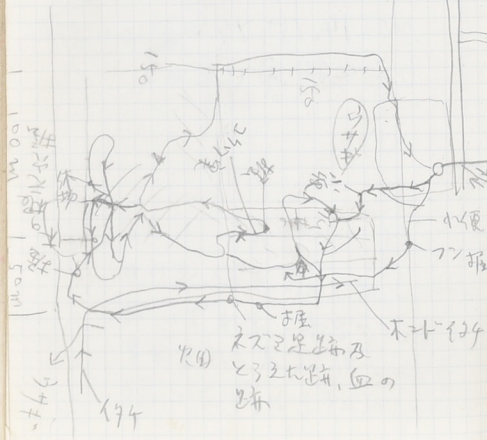


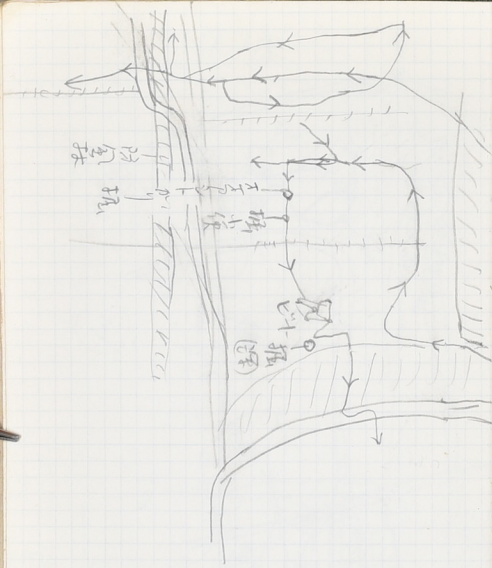
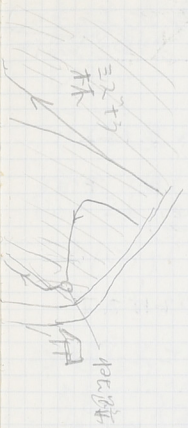
方にて木アツカヤ初に
其の死体を掘り出した
か、木もくわな、その
出来ありあり。但し雪を
掘った所は雪ありあり。

所も捕食した形跡がみられ
ない ~~ところ~~ ところが大部分で、
このような所にはトカゲネズミ
又は他の動物の死体を
たぐったのかも知れない。
死体をたぐった場合には血痕
が染み付くことはないと思われ
るので、何も痕跡は残さな
いであろう。

no. 14, 15, 17の筆は「すく
もよく利用している。

Dec. 11 no. 17 9學





小清水町 Dec. 24-29 1/10

Dec. 24. 小清水 - 小清水

北海タイムス 芥藤 純美と共(車で行)

小清水町 吹雪
Dec. 25. 快晴

no. 20 葉のまわりの足跡あり

使用中 葉の下の葉で牛首を

振り出していろ(写真)

no. 9 } 使用中 キツネは出す
no. 10 }

no. 8

葉の向って足跡が
つづつある、いつか

~~no. 14~~

no. 15 キツネは中に入ると

no. 11

ない。キツネが中にいる

no. 13

写真 9入口には蒸気が

no. 2

凍って結晶している

no. 3

のびり別りびき子

ウサギ足跡はno. 8の所に1足所あるのみ

no. 14は葉のまわりの足跡全く

なし、少ないとも29-2日は全く

ない。新葉葉は雪で

穴かぶさかっている。

ホトトギス

ホトトギス 7-80羽

ハクセキレイ 2羽

ヒヨドリ

ツグミ

Dec. 26

うばり

Dec. 27

ウサギ、イタヤツ行

半島部にはキツネの足跡多

あり、ウサギの足跡は全くない。

キツネの足跡はいち所あり

峰頂部より足跡部

なし。

Dec. 28

小清水 - 標茶 - 鉾路 - 札内
合田氏

シロイトロ湖

ハク4羽 12羽 (中1羽印)

クン4羽 2羽

昌義 (帯広営林局)
合田氏 談

ハイロウト7本リスト

どかさマツが成林に達
たぬ温帯の冠水は全くなく
季でカニバグシ川の氷は
北前1m以上の氷層があ
つたの氷現在では30cm
ほどになり、雨が降ると
昔のような氷層がなくなる
り。また厚岸湾の水温
が北前は低下して

カキの氷層が落ちたか
現在は再び水温が上り
氷層が上ったか

これはPilot Pointの成林
の氷層が上った

無立木地への植林 →
成林の効果を示すもの

小清水

Feb 10-15, 1971

Feb 11 朝小清水着

① 産 7.5 kg

半分を初産生産の所へ

置く (no.2の家の近く)

後の半分は加藤和^{かたわき}氏

の家の横に置く。(9線2号)

② 産 5.5 kg 燕巻清春氏

no.32の家の近くの農家の所へ
この家の堆肥場にはキツネ道が
できており、毎日来ている。

加藤氏談

産後はすぐにキツネが来って
行くという

また生パルパ (ビートのしぼり
かお) をキツネが好んでた
る

no.32の家の近くの農家^(燕巻)では
昨年秋に牧草地を牛が
子もうみ、朝行って見ると
キツネがきており、産後は
なくなっていた。

受精済の牛の集りが
年間10%位あり、その分だけ
け上積み増加分となる。
1-4月期間に分娩する牛を
買うことが最も多い。大部
分がこの時期に出産予定
のものがある。

牛の人工受精による受胎成功
率は91~92%である

Feb 12

no. 32の近くの荒巻氏の
家にはキツネがきこえ、後庭の
一部をくつている。

1入り 1羽 = 木の樺にたま
つたもの

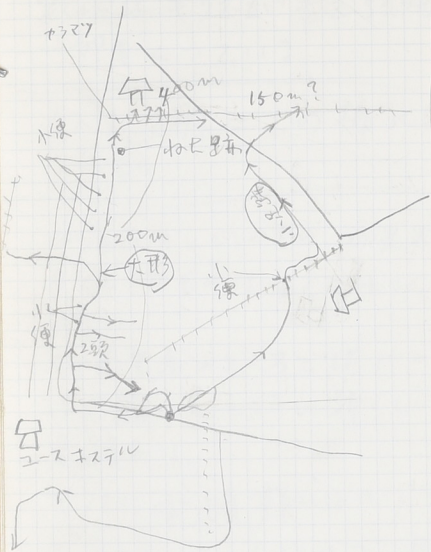
加藤氏のところのもの、初老生麁
のところのものは全くかわって
いない。

初老生麁のところでは100m
ほど離れたところに行くと
足跡あり。

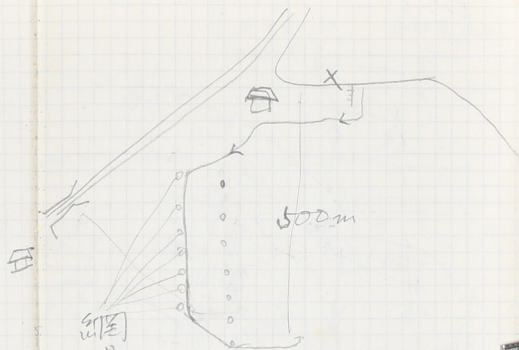
キツネは繁殖期には1羽2頭
で歩いているので、倉倉
が低下している。

ヌタツクサイレーゾ (牧草)
をキツネがくう (加藤氏)

2020年



2020年築利用中
入口に2つの10坪ずつ



田舎
積
氷
の
上
の
小
便

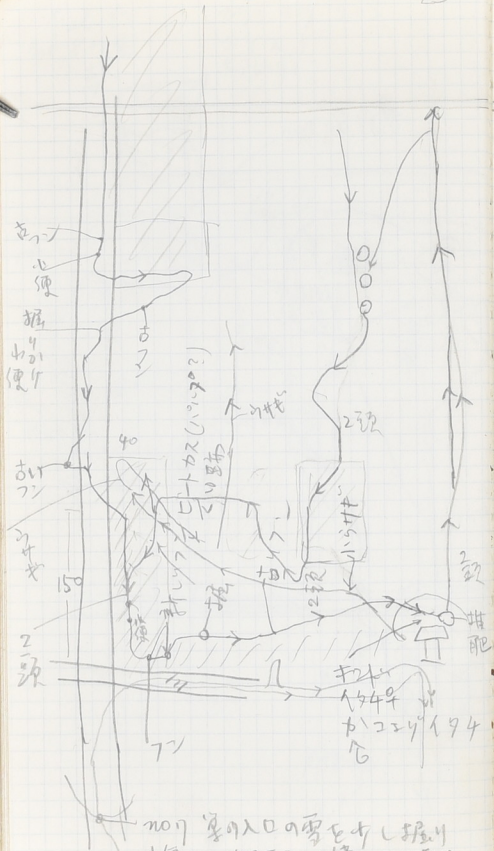
畑の2は30cmほどの
おさ1匹と25cmほどの
フナ1匹かとり水2匹

Feb 13
no. 8の集
古フン

カマキリ 2-3
カラス
ヒヨドリ

no. 8の集

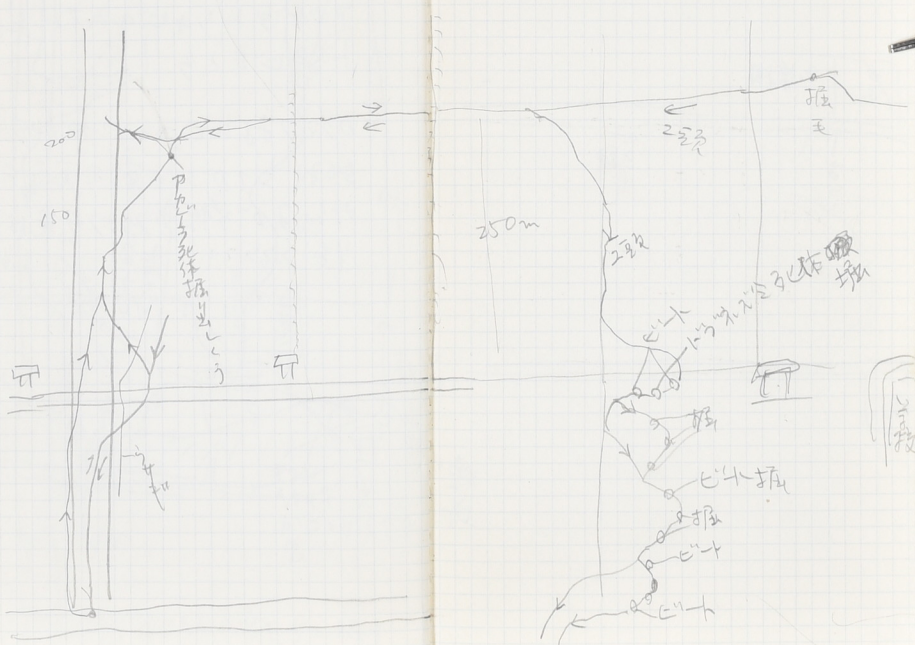




2017 年の入口の雪を少し掘り
小便をかけたのが壊れていない

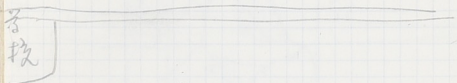
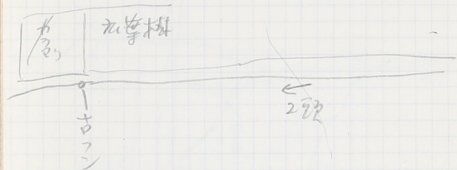
2018年の雪の跡
2ヶ所ほど200m以上の雪
アサギトウキビラ=オムと4リ
トウキビラ

カズツの跡は 22リとコカ
56リ、エトカ3-4リの間を
みる 7カはカズツの裏は4
リをかつた。



Feb 13.

no. 2の箱をカラスがきこいのみ
no. 2 (初先生産) 全部持ちこけて足跡を
no. 9の家の近くに海鳥の体を掘り去
りて頭部のみくら



煙
場

樟茶氣味異

250

4670

2 | 9340

